

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境の改善や訪日外国人数の増加などによる消費の持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外情勢の不確実性など先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の下、当社グループの事業概況としましては、以下のとおりとなりました。

売上高は、主に航空機エンジン部品や空港店舗及び免税事業の増収などにより、前年同期比8,019百万円増の74,117百万円（112.1%）となりました。売上総利益は、売上高の増加により、前年同期比906百万円増の11,971百万円（108.2%）となりました。

販売費及び一般管理費は、空港店舗・免税店舗の売上増に伴う歩合家賃の増加及び新規事業等に伴う人員増による人件費の増加などにより、前年同期比455百万円増となりました。

営業外収益・営業外費用は、持分法による投資利益などが増加しました。

特別利益・特別損失は、農産事業における固定資産の一部を減損損失として計上しました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比293百万円増の1,292百万円（129.4%）となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成28年4～9月)	当第2四半期 (平成29年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	66,097	74,117	112.1	8,019
売上総利益	11,064	11,971	108.2	906
営業利益	1,646	2,097	127.4	450
経常利益	1,696	2,315	136.5	618
親会社株主に帰属する 四半期純利益	998	1,292	129.4	293

[セグメントの概況]

セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。各業績数値は、セグメント間の内部売上高及び振替高、配賦不能営業費用（管理部門の費用等）調整前の金額です。

なお、第1四半期連結会計期間より、組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「航空・空港関連事業」に分類していた印刷・用紙及び一部特殊車両・設備資材関連を「ライフサービス事業」に、「フーズ・ビバレッジ事業」に分類していた贈答用食品販売を「リテール事業」に移管しました。また、報告セグメントに帰属していなかった前連結会計年度新設部署（事業本部企画室等）を各報告セグメントに移管しています。以上のセグメント変更に伴い、各報告セグメントの前第2四半期連結累計期間の数値を当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しています。

① 航空・空港関連事業

当セグメントでは、主に航空機関連での航空機や航空機部品（エンジン部品等を含む）、機材関連での空港特殊車両や整備用機材などの販売を行っています。

主力である重工業向け航空機エンジン部品や産業用ガスタービン部品などの売上が増加したことにより、セグメント合計で、売上高28,647百万円、営業利益381百万円となり、前年同期比、増収・増益となりました。

航空・空港関連事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成28年4～9月)	当第2四半期 (平成29年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	22,643	28,647	126.5	6,004
営業利益	331	381	115.0	49

② ライフサービス事業

当セグメントでは、主に不動産関連での不動産販売・分譲・仲介・賃貸・施設管理、介護関連施設賃貸・運営の事業、保険関連での損害・生命保険の保険代理店業、環境関連での道路補修材などの販売を行っています。

不動産関連は、本年4月に開業したサービス付アパートメント「L'axe Sriracha (ラグゼ・シラチャ)」(タイ王国)における開業費用の発生と国内不動産販売の減少などにより、減収減益となりました。保険関連は、法人向け保険の拡大などにより、売上が増加しました。環境関連は、道路補修材「AQUA PATCH (アクアパッチ)」*が、米国連結子会社Aqua Patch Road Materials, L. L. C.において増収となりましたが、販売体制強化に伴う費用が発生しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高5,857百万円、営業利益477百万円となり、前年同期比、減収・減益となりました。

*AQUA PATCH：水をかけるだけで素早く硬化する特徴をもつ道路補修材

ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成28年4～9月)	当第2四半期 (平成29年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	6,239	5,857	93.9	△382
営業利益	504	477	94.5	△27

③ リテール事業

当セグメントでは、主に空港店舗、空港免税店舗、免税店舗向け卸販売、通信販売、贈答用食品販売、外食業などを行っています。

株式会社JALUXエアポートが運営する空港店舗「BLUE SKY」は、航空旅客数の増加などにより、増収増益となりました。国内空港免税店舗(成田・羽田空港)の運営及び免税店舗向け卸販売は、訪日外国人数の増加などにより、増収増益となりました。また、海外空港の免税店舗は、既存のハノイノイバイ国際空港(ベトナム社会主義共和国)に加え、本年5月、第2の拠点として同国ダナン国際空港に2店舗を開業し、計5店舗となり、売上が増加しました。通信販売は、インターネット通販を強化したことにより、増収増益となりました。贈答用食品販売は、百貨店向けなどの販売が減少したことにより、減益となりました。外食業は、前期(昨年9月)に開業したフレンチレストランが1年を経過し、増収となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高27,504百万円、営業利益1,544百万円となり、前年同期比、増収・増益となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成28年4～9月)	当第2四半期 (平成29年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	25,138	27,504	109.4	2,365
営業利益	1,093	1,544	141.2	450

④ フーズ・ビバレッジ事業

当セグメントでは、主に水産物、農産物、ワイン、加工食品などの販売を行っています。

水産物は、売上・営業利益ともに、前年並みとなりました。農産物は、天候不順などが影響し、減益となりました。ワイン及び加工食品は、ブランド力のあるワインを中心としたホテル・レストラン向け業務用卸販売や、当社オリジナル菓子類の公共交通施設向け卸販売などが増加したことにより、増収増益となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高12,663百万円、営業利益546百万円と、それぞれ前年並みとなりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成28年4～9月)	当第2四半期 (平成29年4～9月)	前年同期比 (%)	前年同期差
売上高	12,572	12,663	100.7	91
営業利益	546	546	100.1	0

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は現金及び預金が増加し、水産物加工品の取引増加により売掛金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して2,116百万円増加し、46,051百万円になりました。

(負債)

負債は航空機関連の買掛金が増加した一方で、短期借入金の返済を行った結果、前連結会計年度末と比較して1,471百万円増加し、23,961百万円になりました。

(純資産)

為替の変動により為替換算調整勘定は減少しました。一方で、利益剰余金は配当により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加しました。

その結果、純資産は前連結会計年度末と比較して644百万円増加し、22,089百万円になりました。また、自己資本比率は0.7ポイント減少し、44.9%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較して1,082百万円増加し、7,296百万円になりました。

各キャッシュ・フローの内容につきましては、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権が増加し、法人税の支払いを行った一方、税金等調整前四半期純利益に加え、仕入債務が増加しました。その結果、営業活動により獲得した資金は3,628百万円（前年同四半期より1,425百万円収入増）になりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

賃貸用不動産建設や空港店舗改装等に伴う固定資産の取得による支出を行いました。その結果、投資活動により使用した資金は550百万円（前年同四半期より711百万円支出減）になりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払いや借入金の返済を行いました。その結果、財務活動により使用した資金は1,997百万円（前年同四半期より206百万円支出増）になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において通期の業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,258,404	7,304,356
受取手形及び売掛金	13,604,220	14,140,430
たな卸資産	11,071,622	11,153,405
その他	4,050,505	4,168,481
貸倒引当金	△27,039	△22,170
流動資産合計	34,957,714	36,744,504
固定資産		
有形固定資産	4,215,411	4,272,196
無形固定資産	399,797	393,807
投資その他の資産		
その他	4,387,929	4,666,382
貸倒引当金	△25,936	△25,596
投資その他の資産合計	4,361,993	4,640,786
固定資産合計	8,977,202	9,306,791
資産合計	43,934,917	46,051,296
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,746,049	11,971,520
短期借入金	3,503,153	2,428,246
未払法人税等	745,123	630,910
未払費用	3,011,991	3,632,364
その他	2,493,668	2,413,648
流動負債合計	19,499,985	21,076,691
固定負債		
長期借入金	2,159,701	1,971,798
退職給付に係る負債	35,429	36,063
その他	794,606	876,979
固定負債合計	2,989,737	2,884,840
負債合計	22,489,722	23,961,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	688,723	688,723
利益剰余金	17,130,525	17,790,096
自己株式	△134,674	△134,809
株主資本合計	20,243,124	20,902,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,314	46,738
繰延ヘッジ損益	22,908	43,889
為替換算調整勘定	△183,270	△279,634
退職給付に係る調整累計額	△60,886	△53,090
その他の包括利益累計額合計	△217,933	△242,097
非支配株主持分	1,420,003	1,429,300
純資産合計	21,445,194	22,089,763
負債純資産合計	43,934,917	46,051,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	66,097,504	74,117,451
売上原価	55,032,827	62,146,332
売上総利益	11,064,677	11,971,119
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	781,620	760,834
給料及び手当	3,242,205	3,429,196
退職給付費用	122,431	122,311
減価償却費	197,928	253,137
貸倒引当金繰入額	△17,051	△1,504
賃借料	1,991,151	2,146,983
その他	3,099,733	3,162,755
販売費及び一般管理費合計	9,418,020	9,873,715
営業利益	1,646,656	2,097,404
営業外収益		
受取利息	7,887	4,667
受取配当金	22,511	26,222
持分法による投資利益	69,289	216,597
その他	41,351	45,380
営業外収益合計	141,040	292,868
営業外費用		
支払利息	27,620	46,041
支払手数料	4,599	2,412
為替差損	50,097	23,215
その他	9,034	3,275
営業外費用合計	91,351	74,945
経常利益	1,696,345	2,315,328
特別利益		
固定資産売却益	-	797
ゴルフ会員権売却益	8,477	-
その他	210	-
特別利益合計	8,688	797
特別損失		
固定資産処分損	19,126	913
固定資産減損損失	-	163,498
子会社清算損	27,311	-
その他	500	5,470
特別損失合計	46,938	169,883
税金等調整前四半期純利益	1,658,095	2,146,242
法人税等	557,027	661,083
四半期純利益	1,101,067	1,485,159
非支配株主に帰属する四半期純利益	102,576	193,011
親会社株主に帰属する四半期純利益	998,491	1,292,148

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,101,067	1,485,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,787	41,033
繰延ヘッジ損益	17,907	20,981
為替換算調整勘定	△435,541	△99,572
退職給付に係る調整額	10,330	7,795
持分法適用会社に対する持分相当額	△44,484	1,777
その他の包括利益合計	△457,575	△27,985
四半期包括利益	643,492	1,457,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562,016	1,267,983
非支配株主に係る四半期包括利益	81,476	189,189

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,658,095	2,146,242
減価償却費	243,144	343,985
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18,651	△4,619
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△9,911	△11,466
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,764	373
受取利息及び受取配当金	△30,398	△30,890
支払利息	27,712	46,100
為替差損益 (△は益)	△15,116	△6,929
持分法による投資損益 (△は益)	△69,289	△216,597
固定資産除売却損益 (△は益)	19,126	116
固定資産減損損失	—	163,498
投資有価証券売却損益 (△は益)	500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	833,972	△887,000
たな卸資産の増減額 (△は増加)	791,477	△122,724
仕入債務の増減額 (△は減少)	647,947	2,313,906
前渡金の増減額 (△は増加)	△625,816	140,531
前受金の増減額 (△は減少)	300,907	191,411
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△1,946	350
その他	△743,740	218,390
小計	3,009,776	4,284,678
利息及び配当金の受取額	88,467	128,034
利息の支払額	△28,114	△48,935
法人税等の支払額	△867,319	△735,155
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,202,810	3,628,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,158,197	△395,994
有形固定資産の売却による収入	171	4,173
無形固定資産の取得による支出	△105,621	△97,659
投資有価証券の取得による支出	△6,191	△147
投資有価証券の売却による収入	300	—
貸付けによる支出	△1,308	△951
貸付金の回収による収入	307	541
長期差入保証金増加による支出	△73,964	△59,091
長期差入保証金減少による収入	151,393	41,494
その他	△69,272	△43,288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,262,383	△550,924

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△55,327	△1,128,391
長期借入れによる収入	644,635	511,830
長期借入金の返済による支出	△551,904	△550,315
配当金の支払額	△506,582	△629,351
非支配株主への配当金の支払額	△180,000	△180,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△140,721	—
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△999,963	—
その他	△786	△21,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,790,651	△1,997,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117,852	2,605
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△968,076	1,082,665
現金及び現金同等物の期首残高	7,251,560	6,213,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,283,483	7,296,541

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,635,259	6,193,843	25,089,007	12,179,394	66,097,504	—	66,097,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,881	45,989	49,694	392,743	496,309	△496,309	—
計	22,643,140	6,239,832	25,138,702	12,572,138	66,593,813	△496,309	66,097,504
セグメント利益	331,388	504,709	1,093,710	546,054	2,475,862	△829,205	1,646,656

(注) 1. セグメント利益の調整額△829,205千円には、セグメント間取引消去1,118千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△830,323千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空・空港関 連事業	ライフサービ ス事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,636,508	5,793,572	27,471,970	12,215,400	74,117,451	—	74,117,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,923	64,237	32,565	448,559	556,286	△556,286	—
計	28,647,431	5,857,810	27,504,536	12,663,960	74,673,738	△556,286	74,117,451
セグメント利益	381,021	477,119	1,544,310	546,706	2,949,157	△851,752	2,097,404

(注) 1. セグメント利益の調整額△851,752千円には、セグメント間取引消去3,152千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△854,905千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「航空・空港関連事業」に分類していた印刷・用紙及び一部特殊車両・設備資材関連を「ライフサービス事業」に、「フーズ・ビバレッジ事業」に分類していた贈答用食品販売を「リテール事業」に移管しました。また、報告セグメントに帰属していなかった前連結会計年度新設部署(事業本部企画室等)を各報告セグメントに移管しています。以上のセグメント変更に伴い、各報告セグメントの前第2四半期連結累計期間の数値を当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「フーズ・ビバレッジ事業」セグメントにおいて、固定資産減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては163,498千円です。